

# い ち ょ う 公孫樹

行田中学校だより  
学べ 鍛えろ 夢を持って  
第3号 令和元年6月10日発行

《学校教育目標》  
よく考え自ら学ぶ生徒  
誠実で情操豊かな生徒  
心も体もたくましい生徒

## 「思いやりの心で ～ハートフル賞～」

校長 安藤 秀一

あなたは、困っている時にそっと手を貸してもらったり、さりげない気遣いで助けてもらったりした経験はありますか？そんな小さな思いやりをもらった時、あなたはどんな気持ちでしたか。きっと、うれしさとともに心があたたかく感じたことと思います。人は誰でも、自分のために何かをしてもらうとありがたく感じて、相手に良い印象を持ちます。こんな小さな思いやりの連鎖が人間どうしを気持ちよく結びつけていくのだそうです。◆そこで本校では、今年度から人の役に立つ、あるいは相手に喜ばれる小さな思いやりに対して「ハートフル賞」と称した賞状を授与することにしました。日常生活の中で見過ごされそうな善行を見つけ、認めることで学校全体にハートフルな雰囲気を広めたいと思います。◆先日、先生方が数名で資源倉庫の段ボール類を回収業者のトラックに積み込んでいました。しかし、あまりの量の多さに困惑してしまい、たまたま通りがかった男子生徒数名に声をかけたところ快く積み込み作業を手伝ってくれました。おかげで短時間に倉庫もきれいに片付いただけでなく、みんなが笑顔で作業をすることができました。◆「情けは人の為ならず」ということわざがあります。これは、「情けは人の為だけではなく、いずれ巡り巡って自分に恩恵が返ってくる」という意味があります。相手のことを思って優しくする、丁寧に接する、思いやるなどの行為は、相手が喜ぶことはもちろん、自分も人の役に立てた満足感があります。そして、いつかその恩恵が自分に戻るなら、すべてが良い結果につながります。◆毎日の学校生活ではいろいろなことが起こりますが、お互いに相手のことを気遣い、相手の思いやりを素直な心で受け止められる生徒が増えることを楽しみにしています。段ボール類の積み込みを手伝ってくれた6名の皆さん、どうもありがとうございました。



## 【地域の教育力を学校に】 ～ 5/29 第1回学校運営協議会 ～



13名の地域の方に運営委員として本校の教育活動に参画いただき、学校運営協議会を開催しました。授業視察に続き、校長先生の今年度の学校経営方針等についてご承認いただくとともに、それぞれの立場からより良い教育のために様々な意見をいただきました。

## 【記憶に刻んだ青春の旅】 ～ 5/13～15 3年生修学旅行 ～

天候にも恵まれ、3年生が奈良・京都を自分たちで学習しながら巡る修学旅行に行ってきました。どの見学地に行っても、ガイドブックの写真からは伝わらない感動と迫力、色の鮮やかさや香りなどがあり、五感をおして記憶に刻むことができました。



## 【絆を深め輝いた思い出】 ～ 5/14～16 2年生林間学校 ～

5月になってもまだ寒さの残る信州車山高原で、2年生が林間学校を行いました。飯ごう炊さん、牧場体験、芸能鑑賞、車山ハイキング、手すき和紙うちわ作り体験と様々な体験プログラムに挑戦してきました。どの体験も自分が頑張らないとやり遂げられない思い出に残る行事になりました。



## 【その乗り方は安全ですか】 ～ 5/30 自転車交通安全教室 ～

中高生の自転車事故が毎年5月～6月に集中していることから、今年も羽生市内の自動車教習所の方を講師に招いて交通安全教室を開催しました。自転車シミュレーターを活用し、実際に代表生徒に自転車操作をしてもらいながら、道路の危険箇所や乗車中の法律について学びました。



～ 行田中学校交通安全宣言～  
「自転車に乗るときはヘルメットをかぶります」 「青信号で道路を横断します」